

令和7年度

北井上中学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・対話的に学習に取り組む意欲を育てる指導の充実
- 効果的なICTの活用を通じた授業の充実

校長

嶋田 聡

学力向上推進員

外山 和久

【各校の取組状況の把握について】

校内や小中連携による授業参観や研究授業の実施など、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各教科の基礎的・基本的な知識・技能を身につける課題に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。 ●複数の基礎的な知識や内容を関連させた文章を正確に読み取ったり、関連づけたりすることに課題がある。	・授業の振り返りや家庭学習による復習を通して基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・習得した知識・技能を他の学習や課題でも関連づけたり、まとめたりすることができる。	・各教科でタブレットのドリルや小テストで反復学習を行う。 ・他教科での学びを活かすことで多面的理解を促す。 ・必要なら学習計画を変更することなども考慮する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題について、相手に伝わるように工夫して自分の考えをまとめて発表することができる。 ●根拠を明らかにして、筋道を立てて自分の考えを表現することに課題がある。	・身につけた基礎的な学習内容を生かして、「なぜ」「～だから」という根拠を示しながら自分の考えを表現することができる。	・学習活動の様々な場面でICTを利用しながら、相互に意見を出し合う場を増やす。そのとき根拠を示して自分の考えを述べるよう助言する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習した内容についてテスト前に復習を中心にまじめに取り組むことができる。 ●自らの課題を見つけ、それについて予習をしたり、目標に向かって主体的・計画的に学習したりすることに課題がある。	・自分の学習課題に目標をもって、ICT機器を効果的に使いながら、粘り強く取り組むことができる。 ・自分の学習の状況を振り返り、学習の方法や時間を工夫して、家庭学習に取り組むことができる。	・単元ごとに目標が達成できたかどうか振り返らせ、学習の見直しを持たせる。 ・日頃から生徒の実態に応じた効果的な学習の方法を、学習活動全体で指導する。 ・継続して学習に取り組むことが困難な生徒には、質問教室等を利用し、課題や目標の達成に向けてポジティブに支援し、学習意欲を引き出すようにする。			